



図書館だより



2023.10 伊丹市立東中学校 | 図書室

ハロウィン

ハロウィンの起源は、秋の収穫を祝うケルト人のお祭りです。ケルト人の暦では、10月31日は一年最後の日（大晦日）で、翌日の11月1日に新年を迎えます。ハロウィンは、新しい年を迎える前に悪霊や魔女などを追い出すためのお祭りだったそうです。

イギリスでは、11月1日はキリスト教の万聖節（Hallowmass）にあたり、ハロウィンはその準備の前夜祭。古いケルト人の風習をキリスト教文化に取り入れたお祭りです。この風習がアメリカに移ってからは、主に子どもたちのお祭りとしてにぎやかに騒ぐ、収穫の祝いの行事となっていたようです。

※ケルト人…古代ヨーロッパ、現在のドイツから西の方とイギリスまで辺りに存在したケルト語を話す民族

図書館祭り

10月16日ボランティアさんがハロウィン図書館祭りを企画してくださっています。

来館者にはボランティアさん・図書委員から素敵なプレゼントもありますので楽しみに来館してください！

〈開館案内〉

開館日時：昼休み

貸出冊数：1週間5冊

※10月は来館者に図書委員特製のしおりをプレゼントします！

たくさん本を読んでね！

※英語検定・漢字検定の過去問題集（それぞれ5級～1級）を図書室に置いてあります。検定に向けてぜひ活用してみてください。

〈おすすめの本〉

『薬屋のひとりごと』

日向 夏 主婦の友社

中世のとある東洋の大国。花街で薬師をしていた少女・猫猫は、ひょんなことから後宮で下女として働くことに。だがやがて、皇帝の寵妃の「毒見役」に抜擢され…。痛快ミステリー。アニメ化決定！アニメ1期が2023年10月から日本テレビ系で放送されます

『青い春を数えて』

武田 綾乃 講談社

理想と現実の狭間で揺れる高校生たちを描いた連作集。器用貧乏な妹の不満が爆発する「側転と三夏」、優等生が不良少女に振り回される「漠然と五体」ほか、全5編を収録。『小説現代』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

『金色の野辺に唄う』

あさの あつこ 小学館

山陰の静かな町で、90を超えた老女が息をひきとろうとしていた。看取るのは、老女の曾孫、孫の嫁、近所の花屋の店員、そして娘…。屈託や業を抱えながらも、誰かと繋がり、共に生き抜いていくことの喜びを描く連作短編集。

『「悩み部」の結成と、その結末』5分後に意外な結末シリーズ

麻希 一樹 学研プラス

感動、笑い、人生の教訓と皮肉、そして、クセになる「意外な結末」！高校を舞台に、悩み解決部同好会、通称「悩み部」のメンバーが活躍する。どこからでも読める連作短編18本を収録。

『汝、星のごとく』

凧良 ゆう 講談社

瀬戸内の島に育った高校生の暁海と、自由奔放な母の恋愛に振り回され島に転校してきた權。ともに心に孤独と欠落を抱えた二人は、惹かれ合い、すれ違い、そして成長していき…。『小説現代』掲載を加筆改稿し単行本化。

『13歳のキミへ』中学生生活に自信がつくヒント35

高濱 正伸／著 一実務教育出版

「ふられてもだいじょうぶ」「大好きを極めよ」「あきらめなければ負けない」…。学習塾・花まる学習会代表である著者が、中学に入学する直前の子どもたちの不安・悩みに答えます。花まる学習会卒業記念講義をもとに書籍化。

